

<p>【技術の名称】 アルファフォースパイルⅡ工法 ー先端翼付き鋼管を用いた杭状地盤補強工法ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第17-33号（更1） 性能証明発効日：2021年4月5日 性能証明の有効期限：2024年4月末日</p> <p>【取得者】 エイチ・ジー・サービス株式会社 有限会社天王重機</p>
--	--

【技術の概要】

本技術は、鋼管の先端に先端蓋と先端翼を一体化した部品を溶接接合したものを回転させることで地盤中に貫入させ、これを杭状地盤補強材として利用する技術である。なお、本工法による補強地盤の鉛直支持力は、基礎底面下の地盤の支持力を無視して杭状地盤補強材の支持力のみを考慮することとしている。

【更新の内容】

新規：GBRC 性能証明 第17-33号（2018年4月11日）
 更新：GBRC 性能証明 第17-33号（更1）（2021年4月5日）

【技術開発の趣旨】

本技術は、先端蓋と先端翼を一体化した部品を用いることで、加工コストを低減させるとともに、加工精度を向上させている。また、先端翼をなめらかな螺旋形状とすることで、回転貫入時の施工性の向上を図っている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単杭状の補強材の鉛直支持力のみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「アルファフォースパイルⅡ工法設計・製造・施工指針」に従って施工された補強材の許容支持力を定める際に必要な地盤で決まる極限支持力は、同指針に定めるスクリーウエイト貫入試験あるいは大型動的コーン貫入試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

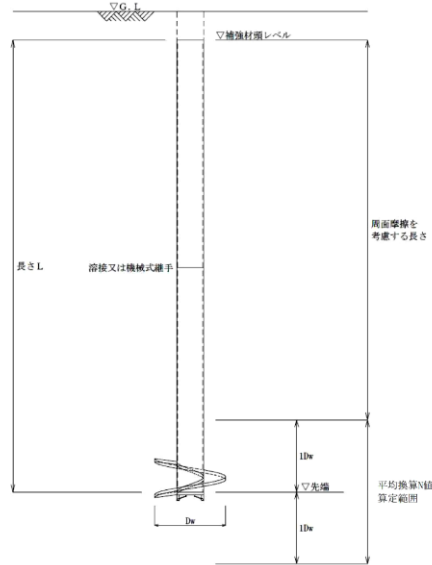


図1：補強材の構成

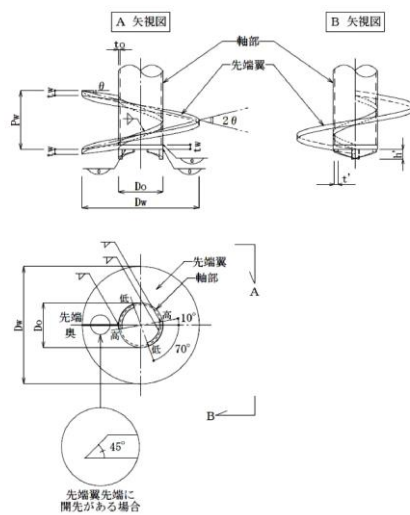


図2：先端翼及び掘削刃の形状

【本技術の問合せ先】

エイチ・ジー・サービス株式会社 担当者：樋口 雅久
 〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森 1-11-7
 有限会社天王重機 担当者：山本 健一
 〒435-0001 静岡県浜松市東区天王町 755-5

E-mail：cmh21jp@nifty.com
 TEL：043-290-0112 FAX：043-290-0013
 E-mail：tennoh@dune.ocn.ne.jp
 TEL：053-421-8766 FAX：053-421-8722